

工事完成

# 国道140号（新山梨環状道路東部区間Ⅱ期）濁川・平等川橋（仮称）河川工事

工期：令和2年10月～令和3年3月 施工者：株式会社 森山組

工事概要： 法覆護岸工 A=1,271㎡ 根固めブロック工 N=230個

## 根固めブロック工

堤防や護岸ブロックの水面（河床）下にある基礎の上の部分は、流水によって変化しやすくなっています。そこで、基礎の周りが崩れるのを防止するために設置されるのが根固め（護床）ブロックです。消波ブロックと呼ばれることもあります



流水による影響から  
河岸や川の底を守る為の工事を行いました。

## 法覆護岸工

護岸とは、字の通り「岸」を「護る」こと。流れる水のエネルギーを吸収するような方法で土手や岸の上に造られる構造物です。様々な工種がありますが、こういった工事を行うことで川の水の速さに負けることなく、岸や川の底の変形を防いで守ります。



今回行った法覆<sup>のりふく</sup>とは、河岸を構造物で覆うことにより、河岸が直接流水に接して崩れていく事を防止して、斜面を保護する方法です。

型枠を組み立て、コンクリートを流して固めます。



型枠を外し、ブロックを並べて土を戻して完成します。

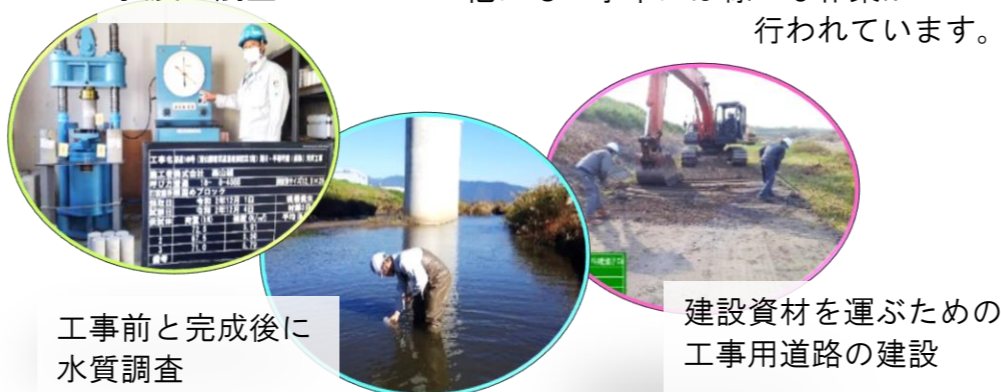


ちなみに… 根固め<sup>しょうは</sup>（消波）ブロックとは護岸や水制を目的に設置するコンクリートブロックのこと。英語では「tetrapod」と呼ばれ、日本語でも消波ブロック全体を同じように呼ぶこともありますが、日本では登録商標となっています。



コンクリートの  
強度の調査

他にも工事中には様々な作業が行われています。



工事前と完成後に  
水質調査

建設資材を運ぶための  
工事用道路の建設



まずは、コンクリートの枠のようなものを造ります。碎石を敷いて地盤を安定させ、現場で鉄筋を組んで型枠にコンクリートを入れて固めます。



ブロックを置いて、固めていきます。先に造った枠の中にブロックを並べ、金具で連結していきます。